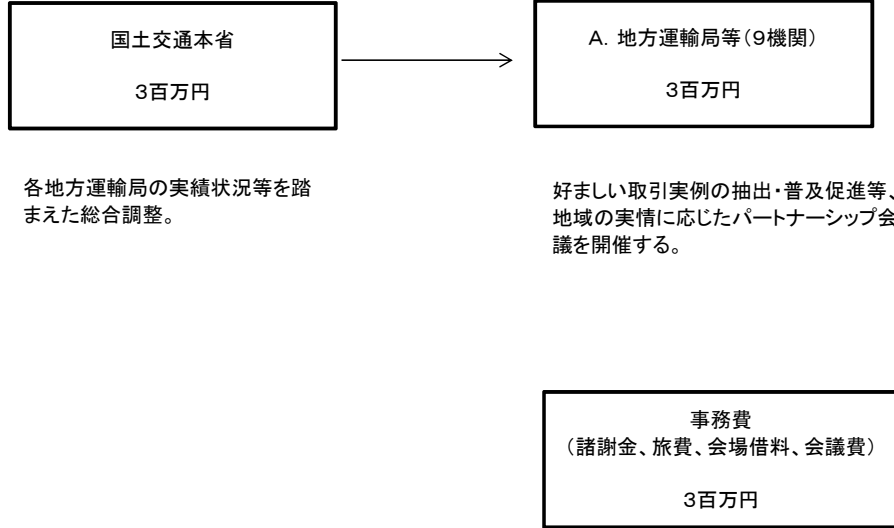


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	トラック運送業におけるパートナーシップ環境整備事業		担当部局庁	自動車局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年～		担当課室	貨物課		課長 加賀 至	
会計区分	一般会計		施策名	35 自動車運送業の市場環境整備を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	トラック運送業における下請・荷主適正取引推進ガイドライン			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独占禁止法(物流特殊指定)及び下請法の違法行為の未然防止をはじめ、荷主、元請事業者、下請事業者の協働による適正取引の推進を図るとともに、燃料サーチャージ制の導入等を図るため、学識、行政、関係事業者等を構成メンバーとするパートナーシップ会議を設置し、望ましい取引形態の普及、問題となる取引形態の整理等を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各地方運輸局等において荷主やトラック事業者等のトラック輸送関係者による「トラック運送適正取引推進パートナーシップ会議」(パートナーシップ会議)を開催し、これら関係者における望ましいパートナーシップの構築を図る。 また、あわせて地方運輸局において、これら関係者によるパートナーシップの構築に資するため、燃油消費量の削減や輸送効率向上のための協働の取組等、トラック事業の構造改善に資する具体的な好事例を収集する等の調査を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	53	9	7	5	5
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	53	9	7	5	5
	執行額	33	3	3			
執行率(%)	62.4%	27.8%	34.8%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	荷主とトラック運送事業者とのパートナーシップによる「燃油消費量の削減」や「輸送効率向上のための協働の取組」等トラック運送業における事業改善事例件数	成果実績		61	66	68	70
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	パートナーシップ会議開催回数	活動実績 (当初見込み)		36	21	25	-
単位当たり コスト	103,865(円/件)	算出根拠	単位当たりのコスト=X/Y X=平成23年度執行額 Y=平成23年度会議開催回数				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	2	2				
	職員旅費	1	1				
	委員等旅費	1	1				
	自動車運送業市場環境整備推進調査費	1	1				
	計	5	5				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・国内物流の6割を占めるトラック業界の適正取引を推進することは、貨物自動車運送業の健全な発達に寄与するとともに、公共の福祉の増進に繋がるものである。 ・震災の影響により開催を見送ったところもあったが、それでもなお不要率が高かったことから、予算の抜本見直しを行い24年度予算で縮減を図った。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・必要最低限の会場借上を行うとともに、価格・立地等精査した上で会場を決定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・23年度末現在の達成度は97%と非常に良好である。 ・公取、中企庁においては、独禁法及び下請法に基づく対応を行っているが、トラック業界においては、独禁法及び下請法の対象外の取引も多数散見される。これらについての議論を深めているとともに、燃油消費量の削減や輸送効率向上のための荷主・元請・下請間での協働の取組等についても議論しており類似の事業とは役割分担は明確にしている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 中小企業取引適正化対策事業・中小企業庁	
点検結果		<p>これまでパートナーシップ会議において関係者間で情報の交換等を通じた認識の共有を図ってきたことところであるが、トラック運送に関わる関係者の役割・責務の明確化を図り、関係者間の適切な関係を創設していくという観点から、パートナーシップ会議の機能を見直し、議論を深化させていくこととした。</p> <p>なお、事業の実施に当たり、会議の開催の際には、必要最低限の会場借上を行うとともに、価格・立地等を厳しく精査した上で会場を決定するなど、引き続き効率的かつ効果的な執行に努めた。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 計画的な会議開催に努め、必要最低限の会場借上を行うとともに、価格・立地等を厳しく精査した上で会場を決定する等により、コスト縮減を図った。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		計画的な会議開催により、執行率の改善が見られたが、未だ執行率が低いため、会議の確実な開催に努め、効果的に事業を遂行すべき。	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
執行等改善		会議の確実な開催により、効果的に事業を遂行する。	
		補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)	
		関連する過去のレビューシートの事業番号	
平成22年行政事業レビュー	313	平成23年行政事業レビュー	0290

※平成23年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.九州運輸局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	諸謝金	0			
旅費	職員旅費	0			
借料	講演会会場借料	0			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	九州運輸局	事務費	1	-	-
2	中国運輸局	事務費	1	-	-
3	中部運輸局	事務費	0	-	-
4	四国運輸局	事務費	0	-	-
5	関東運輸局	事務費	0	-	-
6	東北運輸局	事務費	0	-	-
7	北陸信越運輸局	事務費	0	-	-
8	近畿運輸局	事務費	0	-	-
9	沖縄総合事務局	事務費	0	-	-
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					